

あかね雲



吉賀町：カタクリの花

2013. 2.20

CONTENTS

- | | | |
|----------------------|-------------------|-----------------|
| ◆平成24年度協会事業を振り返って…P1 | ◆委員会活動…P4 | ◆ナースセンターだより |
| ◆島根県看護協会の主な動き…P1 | ◆支部活動…P5 | 働きやすい職場を目指して…P7 |
| ◆職能委員会活動…P2 | ◆ファーストレベルを受講して…P6 | 西部地区看護師再就業 |
| ◆トピックス…P3 | ◆医療・看護安全情報…P6 | 支援講習会にご参加下さい…P8 |

NO.134

湧水 ゆうすい

看護職の皆様へ

島根県健康福祉部医療政策課長 吉川 敏彦

医療政策課は、すべての県民の皆様が、それぞれの地域で安心して暮らせるよう、良質かつ適切な医療の効率的な提供を目指しています。看護職をはじめとする医療従事者の確保は、それを実現するため

の重要課題の一つであり、島根県看護協会を始めとする関係者の皆様と連携し、様々な対策を講じています。一方で、医療の高度化やチーム医療の推進に伴い、看護職に寄せられる期待はますます増しています。このようなことから、県としましては、看護職確保や研修環境の充実のほか、看護職の皆様がやりがいを持って働き続けられる環境づくりに、皆様とともに取り組んで参ります。



発行／公益社団法人島根県看護協会

発行責任者／春日 順子 編集／広報委員会

大田市立病院



後列左から
福間恒日児
吾郷恵太
梶谷菜都美
岩谷希美子
前列左から
福島弥生
山田明日香
月森麗

平成24年度協会事業を振り返って



寒さも緩み、誰かがそっと生ってくれた水仙の花に心和むひと時を感じます。会員の皆さんにはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。東日本大震災からすでに2年が経とうしています。一日も早い復興をお祈りします。

春日会長 島根県看護協会は平成24年4月公益社団法人としてスタートしました。公益社団法人とは、行政庁の認定基準に沿って公共性があると内閣府や知事の認定を受けた法人で税制上優遇されるもので“社会的にとても高い信頼度がある”ものです。

平成24年度の事業は、会員5,383人の皆さんに支えられ計画通り進んでいます。重点事業の一つに「労働条件・労働環境改善」を掲げ、11施設(+インデックス調査のみ実施7施設)がWLB推進ワークショップに取り組みました。多様な勤務形態の導入、時間外勤務の削減、院内保育の拡大、看護補助者の増員、12時間交代制の導入に向けての検討など様々な成果をあげています。また、1月には、職能研修会に坂本すが日本看護協会会長を迎えて「新時代の看護への期待」についてご講演いただきました。2025年問題に触れ、看護こそ暮らしと医療を支える、チーム医療のキーパーソンとして看護の専門性を明確

にした上で能力を最大限発揮できるよう看護師特定能力認証制度の法制化は必要と話されました。

介護施設等の看護機能強化については、8月に看護実践研修・情報交換会(非会員42名、会員7名)を実施、12月に初めて老人福祉施設協議会と情報交換し連携を深めました。

継続教育では、新人育成からジェネラリストの実践力の向上、認定看護管理者教育など自ら専門職としてキャリアを形成できるよう多岐にわたる研修を開催し多くの方に参加いただきました。9月の日本看護学会ー小児看護学術集会は、全国から2日間延べ1,448名の参加がありました。

研修会場としての研修センターは今年度から、別館改修を終え使用できるようになり、利用は、本館108日、別館60日、外での会場使用料は前年度より約70%減少しています。アメニティの充実、受講生同士の交流の場としての機能も果たしています。

9月には、島根県議会看護議員連盟に看護連盟とともに要望書を提出しました。平成25年度予算編成にあたり「看護職の労働条件・環境の改善」「看護職の資質向上の推進」「医療行政における看護職の中間管理職の登用」「在宅・介護療養を支える看護職員の確保」について支援をし、看護職の質・量の両方の充実が図られ役割発揮できるよう要望しました。

新年度を迎え、ナースセンター機能の充実など多くの課題もありますが、看護の素晴らしさを情報発信し、会員の皆さんとともに前に向かって活動したいと思います。

島根県看護協会の主な動き(2012年12月～2013年2月)

項目	月 日(曜)	実 施 事 項	出 席 者	場 所
島根県関係事業	12月 1日(土)	島根いのちの電話石見分室開設一周年記念式典	村 上 局 長	浜田市
	12月 3日(月)	自殺予防対策等関係機関研修会	徳 若 理 事	出雲市民会館
	12月 5日(水)	島根県災害医療関係機関連絡会議	春 日 会 長	島根県民会館
	12月19日(水)	島根県自殺総合対策連絡協議会	徳 若 理 事	サンラボーむらくも
	12月22日(土)	医療安全推進研修会	春日会長、三代理事	くにびきメッセ
	12月26日(水)	島根県医療審議会総会	春 日 会 長	サンラボーむらくも
	1月16日(水)	島根県訪問看護支援検討会	春 日 会 長	サンラボーむらくも
	1月24日(木)	島根県がん診療ネットワーク協議会	三 代 理 事	島根大学医学部附属病院
	2月 5日(火)	島根県緩和ケア総合推進委員会	川 合 事 業 局 長	ニューウエルシティ
	2月 6日(水)	島根県防災会議	春 日 会 長	島根県民会館
日本看護協会事業	1月23日(水)	事務担当者会議(地区別勉強会)	村上局長、石原	広島県看護協会
	1月24日(木)	訪問看護支援報告会	春日会長、加藤所長	AP品川
	2月 4日(月)	「高い臨床実践能力を有する看護師の活用推進に関する事業活用推進」に関する検討会議	春 日 会 長 赤 木 看 护 部 長	香川県高松東急イン
	2月 8日(金)	助産師出向システム合同報告会	三 代 理 事	青山ダイヤモンドホール
	2月22日(金)	WLB地域推進連絡協議会	川 合 事 業 局 長	JNAホール
	2月 4日(火)	看護就業相談員連絡会／浜田支部(12/4)松江・隠岐支部(1/17)益田(1/24)出雲(2/19)	看護管理者、教育機関、行政、労働局、ハローワーク、ナースセンター	
島根県看護協会事業	12月 7日(金)	平成24年度看護部長ワークショップ	川合事業局長、板木	ホテル宍道湖
	12月 7日(金)	老人福祉協議会と意見交換会	春日会長、看護師職能委員会他	サンラボーむらくも
	1月12日(土)	3職能合同研修会(日看協・洪愛子理事)131名参加	3 職 能 理 事 他	ピックハート出雲
	1月18日(金)	WLB推進フォローアップワークショップ	春 日 会 長 他	看護研修センター
	1月26日(土)	看護師職能研修会(日看協・坂本すが会長)132名参加	津 島 理 事 他	看護研修センター
	2月12日(火)	常務理事会	春 日 会 長 他	看護研修センター
	2月16日(土)	セカンドレベル修了式(23名)	春 日 会 長 他	看護研修センター
	2月18日(月)	理事会	春 日 会 長 他	看護研修センター
	2月23日(土)	看護協会・看護連盟合同研修会	春 日 会 長 他	看護研修センター
その他	12月 6日(木)	島根県経口摂取支援協議会	福 間 (事 業 局)	島根県歯科医師会館
	12月20日(木)	松江赤十字病院地域医療支援病院運営委員会	春 日 会 長	松江赤十字病院
	2月17日(日)	歯周病管理研修会	福 間 (事 業 局)	県歯科医師会館

職能委員会活動

助産師職能委員会活動について

助産師職能委員会では、島根県の地域医療再生計画事業「助産師卒後教育研修プログラム構築・運用」としての予算で、平成23年度から新人助産師対象に3日間の集合研修および施設間交流研修(NICU・MFICU・正常分娩)、中堅助産師対象に2日間の集合キャリアアップ研修を行っています。これまで島根県の助産師の卒後教育は、すべて現場の助産師に委ねられていましたが、地域性や施設の役割により教育にも偏りがあり、助産師教育も統一されていないのが課題でした。この助産師

委員長
吾郷 美晴(島根県立中央病院)

卒後研修では、県内各施設で実施できていない新人助産師の教育を充実させ、将来的には院内助産ができるような能力獲得に至ることを目標としています。

日本看護協会では、新卒助産師研修ガイドが出版され、助産師の実践能力を強化する仕組み「助産師クリニカルラダー」を作成中です。島根県助産師職能委員会では、それらを活用し、引き続き研修の充実をはかり、県内助産師の実践能力強化に取り組んでいきます。

研修の様子



参加者の皆さん



「看護師職能委員会活動(介護・福祉領域)」について

看護師職能委員
加藤 典子(訪問看護ステーションやすらぎ)

日本看護協会において、平成23年度重点政策の1つとして「長期的な在宅療養を支える訪問看護を基盤としたサービス提供体制の確保と整備」が掲げられました。

その中で、介護施設において看護機能が強化できる活動を展開することを目的に、看護職員の組織化を図るため、看護師職能委員会Ⅱ(介護・福祉領域・在宅領域等)が発足しました。

島根県看護協会においても、看護師職能委員会の中で、介護・福祉領域での職能としての取組みを平成23年

度より開始しました。初年度には、現状認識、課題を見出すため、実態調査を実施しました。平成24年度には、Ⅱ領域職能集会で、実態調査の報告、脳卒中リハビリテーション認定看護師による「看護師が行うリハビリテーション」の講義と交流会を開催し、引き続きこのような機会を持ちたいと好評でした。詳細については島根県看護協会のホームページ(看護師職能委員会)をご覧下さい。

トピックス

平成24年度看護師職能研修会

専務理事 三代 美知子



平成25年1月26日(土)に島根県看護研修センターで、日本看護協会の坂本すが会長をお迎えして「これからのかの看護に求められるもの～看護師の業務拡大と専門性」をテーマに研修を行いました。約130名の参加があり、最初に津島看護師職能委員長による平成24

年度の活動報告、つづいて坂本会長の「これからのかの看護に求められるもの～新しい時代の看護への期待」と題しての講演がありました。医療を取り巻く社会の変化、医療・介護提供体制の変革の動き、日本看護協会の活動、看護の将来ビジョンについて事例を交えた、大変パワフルな講演でした。その後、島根県立大学看護学部の吉川洋子教授を座長に、14名の認定看護師が活動する、浜田医療センターの赤木美恵看護部長から認定看護師



育成の成果・管理者の役割について、松江市立病院老人看護専門看護師の吉岡佐知子さん、また感染管理認定看護師の立場から島根大学医学部附属病院の坂根圭子さんの日頃の活動状況・今後の課題について発表がありました。会場との意見交換も活発で、これからの時代に求められる新たな看護の役割について考える良い機会となりました。

平成24年度「保健師・助産師・看護師職能・ナースセンター合同研修会」

専務理事 三代 美知子



講師 洪 愛子先生

平成25年1月12日(土)にビッグハート出雲で、日本看護協会常任理事である洪愛子先生を講師に「新人をどのように育てるか～自信と誇りを持って働き続けるために」をテーマに研修を行いました。当日は、看護協会の関係者を含め約150名

の参加がありました。洪先生には、日本看護協会における新人看護職員の卒後臨床研修制度の考え方や今後の課題、他県の実践事例などを織り込んでご講演をいただきました。その後のシンポジウムでは、行政の立場から、島根県健康福祉部医療政策課の吉川敏彦課長、看護基礎教育の立場から、島根大学医学部看護学科の内田宏美教授、島根県立中央病院新人担当の今岡桂子看護部長の島根県立中央病院における新人看護職員研修実地状況の発表がありました。最後に、卒後2年目の立場



で島根県浜田保健所保健師の山根夏生さん、島根大学医学部附属病院助産師の瀬田ひかりさん、大田市立病院看護師の月森陽香さんから、それぞれの教育プログラムの研修を受けての報告をいただきました。新人看護職員の皆様のはつらつとした発表態度に元気をもらうとともに今回の研修会での情報を看護実践の場に活かしていきたいと感じました。

委員会活動

会員委員会

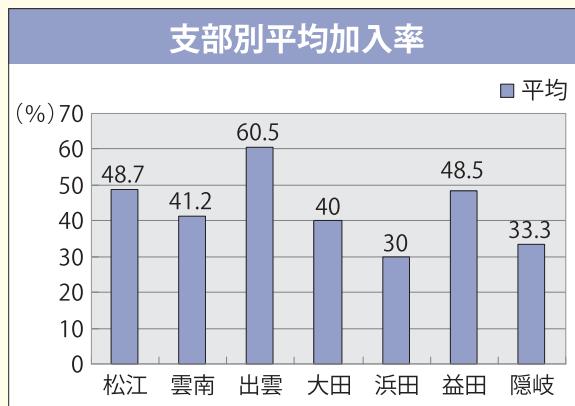
「会員加入率アップを目指して」

会員委員会では、会員の確保と会員の福利厚生等の事業の促進を目指し活動を行なっています。H23年度12月31日現在で協会加入率は保健師で63.3%、助産師87.2%、看護師64%、准看護師8.1%で平均は47.7%でした。支部別の加入率はグラフの通りです。H22年度より1%の増加が見られますが、県内で看護業務従事届けを出された方で協会に加入されている方は近年半分弱で推移しています。協会に入ることで様々な研修の機会が得られたり、「日本看護協会看護職賠償責任保険」に加入することができます。その他協会加入による特典等を協会HPや研修会などでお知らせし、協会が会員の皆様のキャリア支援や県民の方への健康サポートをする組織であることを伝え、新たな会員確保に向けて取り組んでいきたいと考えています。全域会員加入率50%を目指し、来年度は介護施設で働く



委員長
武田 輝子(島根県立中央病院)

く看護職の方や入職前の看護学生への働きかけも検討しています。皆様の支部研修にもお邪魔させてもらうこともあるかと思いますので、その時はどうぞ宜しくお願いいたします。



災害看護委員会

災害支援ナース登録に向けた災害看護研修会の実施

委員長
河瀬 裕子(松江赤十字病院)

東日本大震災時、日本看護協会の災害支援ナースがオレンジ色のベストを着用し活動している姿をご覧になられたと思います。島根県看護協会も災害支援ナースに1名派遣しました。災害看護委員会では、この災害支援ナースの登録推進に向けて活動を行っており、その一つとして、平成24年度も災害看護基礎編・実務編の研修を実施しました。基礎編は神戸研修センター配信の衛星通信を利用した研修、実務編は黒田裕子先生の講義やグループワークを取り入れた研修を行いました。災害支援ナースは、自己完結型で被災地での活動を行わなくてはなりません。そのため災害医療・看護の

基礎、災害支援活動時の知識や技術、心構えなどを学んでもらい、多くの方に災害支援ナースになって活動したいという気持ちをもっていただきたいと研修を実施しています。

災害発生時に支援活動をしてみたいと考えている方は、ぜひ災害支援ナースへの登録を行っていただきたいと思います。

詳細はホームページをご覧ください。



支部活動



「地域に根ざした支部活動を目指して」

出雲支部長
池田 康枝

出雲支部は、住民の皆さん的生活・暮らし・人生を支えていく看護職能団体として、地域に根ざした活動を行っています。北山温泉において、常設型「まちの保健室」を毎月2回開催し、3か月に1回は研修会を行うなど、役員やボランティア会員、住民の皆さんとのふれあいを大切にしています。出雲市主催の「夢フェスタin出雲」や、JA農業祭、中学・高校の文化祭への参加など、積極的に地域へ参加することで住民の皆さんと共に楽しんでいます。看護活動交流会では、症例を通したグループワークで情報交換を行い交流を深めています。働く場所は違っても、自由に語り合い共感しながら協力しあうことで、出雲支部全体の質の高い看護の提供に結びつくことを目

指します。講演会では、いきいきと笑顔で健康に働き続けられる風土づくりの一端として、癒しの演奏会を開催しました。肉体的にも精神的にもとても大変な看護という仕事ですが、大きなやりがいを日常的に感じることのできる素敵なお仕事です。ホッとできる空間に浸り、参加者全員が心癒された瞬間でした。今後も、地域に根ざした楽しい支部活動を企画していくたいと思います。



「病院、在宅訪問、施設で同等の看護提供をするために」

隱岐支部長
河田 真紀

隱岐支部は、会員数102名で小規模ではありますが、1ターンの方の入職などもあり、昨年度より3名の増がありました。6月30日に公益法人となって初めての支部総会を開催し、支部活動をスタートしました。支部総会後、「アロマでの癒しのひととき」というテーマで研修会を行いました。アロマテラピーの効果について講義を受け、実際に手浴・足浴等行いリラクゼーション効果を実感することが出来ました。また、先生の指導のもと頭をすっきりさせたい、心を落ち着かせたい、ぐっすり眠りたいなど各自の思いをテーマにしたオリジナルのアロマスプレーを作成しました。研修会に参加したことでリフレッシュできた、癒やされた、臨床の場で活かしたいなどの意見が聽かれ好評でした。

また、9月には看護連盟、看護協会共同の研修会を行いました。「看護連盟とは」について松浦昌代看護連盟会長、「看護協会の役割」について春日順子協会会長より講演をして頂き看護連盟についての知識を深め、看護協会の役割について理解し、会員としての自覚を持ち、連盟・協会をより身近に感じることが出来る良い機会となりました。

今年1月には、「褥瘡ケアについて」の研修会を開催し、皮膚排泄ケア認定看護師山根妙氏の講議をいただき、非会員の看護職や施設の関係職種の方の出席も多

くありました。褥瘡予防のためのポジショニング、体圧分散の方法、スキンケアについて詳しく講義していただき、明日から実践できる、とても勉強になった等の声が聽かれました。離島という地域的なハンディがありながらも、身近に認定看護師がいることで参加しやすく有意義な研修会となったように思います。また、病院、在宅、施設で同等の質の高い看護を提供するための学びを共有できる場になりました。今後も会員同士の交流を深め、看護の日記念事業・まちの保健室等で地域の方とふれ合い、看護について関心を持っていただけるような活動にしていきたいと思います。



〈認定看護管理者教育〉ファーストレベルを受講して

松江市立病院 長谷川 精一

私は、平成24年度の認定看護管理者制度ファーストレベルを受講しました。今年度、副看護師長となり、自部署の問題をどのように抽出し、その問題にどう取り組むか悩んでいた時でした。受講期間は3ヶ月で、その間、勤務をしながら講義・レポートに取り組むのは容易ではありませんでしたが、上司やスタッフの協力を得ながら修了することが出来ました。

各講義で、医療を取り巻く社会情勢の変化や、問題点を抽出し解決するための理論・リーダーシップを発揮するためのコミュニケーション方法などを学びました。そして、それをどう実践に活かすのか、レポートを作成することで自分の考えを整理することができました。これまで、自部署の状況把握や自分の興味がある情報にしか目を向いていなかったことに気づき、看護管理者としての視点や知識面での大きな成長に繋がったと考えています。今後は、今回

学んだ知識をスタッフ教育や業務改善・事故防止などの実践に結びつけることが課題であり、看護師長・スタッフを巻き込みながら自部署の問題に取り組んでいきたいと考えています。

毎回あったグループワークでは、他施設の受講者と話し合いをすることで、グループワークの課題について一緒に考えるだけでなく、情報交換やネットワークづくりをする良い場となりました。今後もこの受講者同士のネットワークを大切にし、情報交換や他施設との協力体制にも目を向けていきたいと考えています。



医療・看護安全 情報

平成24年度「医療安全推進研修会」報告

医療安全推進委員会

「患者と医療者の架け橋。院内医療メディエーター」をキーワードに、平成24年12月22日(土)、ぐにびきメッセで開催いたしました。この研修も10年を過ぎ、今年度は、島根県・看護協会に加え、医療メディエーター協会山陰支部との共催となり、医師会はじめたくさんの団体の後援をいただきての開催でした。参加者は118名でしたが、医師9人、看護職67人、その他薬剤師・臨床工学士・理学療法士など他職種にわたりました。まだ一般になじみが少ない言葉ですが、院内メディエーター(医療対話仲介者)とは、院内での苦情や事故後の初期対応の際に、患者側と医療側の対話の橋渡しをする役割であり、法律的な解決には関わりませんが、患



者さんに寄り添い、医療機関の真摯な対応を促進するために、専門技法の習得と倫理性が要求されます。



早稲田大学大学院法務研究科の和田仁孝教授の基調講演、島根県立中央病院の菊池清副院長の講義を聴き、その後、座長の山形大学医学部総合医学教育センターの中西淑美准教授の進行で、県内ですでに、院内医療メディエーターとして活動をされている在宅診療所出雲の山本俊彦様と出雲市民病院の濱村智子医療安全担当看護師長の実践報告がありました。会場との意見交換の時間は少なかったですが、「皆のこころにメディエーション・マインドを!」の必要性を実感した研修でした。



働きやすい職場を目指して ワークライフバランス推進ワークショップ参加2年目を迎えて

済生会江津病院 笹尾 孝美

人口減少に歯止めが掛からない江津市の中で、二次救急を守っている済生会江津病院。看護学校への進学も毎年10名を超えていましたが、帰ってこない。どうしたら就職先に選んでもらえるか?勤務している看護師は「看護にやりがい」を感じているのに。そんな時看護協会からワークショップ参加の誘いがあり、何か見えるのではないか?と参加を決めました。1年目のWLBインデックス調査からは、正しい時間外請求がなされていない現実が分かり(実際はあってはならないのですが)時間外の実態調査を実施し、正しい申請方法を説明し適正な時間外申請を始めました。何度も繰り返し説明し正しく申請できるようになってきました。一方では、時間外にならない取り組みも行い、労働時間管理者と師長を位置付けられるよう「労務管理」の勉強会を行いながら、チームリーダーの時間管理を育成し、調整機能を活発に行えるようになってきています。業務の中で時間外になるようであれば早めの相談を行いチーム間・病棟間の応援を依頼しています。当院の強みの熟練看護師が応援に行きますから、スタッフから「応援に来てもらって助かる」の声が聞け、熟練看護師だからこそ「手が空きました。応援に行きましょうか?」の声が出るようになってきています。「お互い様」意識が育ま

れています。今年度のインデックス調査による申請時間外と実際の時間外の差は取り組みの効果を感じる数字でした。

1年間取り組んで、「働きやすい環境へ変える」この思いを強く持ち、僅かな進歩ですが「働きやすい職場づくりは自分たちの問題」「看護のやりがいをもっとPRしたい」など多くの改善策を見出しています。看護師が働き続けられる職場・江津で働きたいと帰っててくれる職場を今後も病院スタッフ全員で考えたいと思っています。

医療の現場をかえるんです
ナースとみんなで考えよう、日本の医療のこれから。



25年度ワーク・ライフ・バランス推進事業に取り組む施設を募集中です

働きやすい職場環境づくりをめざしている看護管理者のみなさま、是非ご検討ください。応募締め切りは平成25年3月11日です。

知識と技術を、もう一度学んでみませんか？病院等への再就業を応援します！

♣ 西部地区看護師再就業支援講習会にご参加下さい

会場

島根県立石見高等看護学院

益田市昭和町20番15号

TEL:0856-23-2615 FAX:0856-23-3462

定員10名程度

資料代:2,000円

申込方法

裏面申込書によりFAX・郵送・メールにて受付ます。

〆切 3月4日(月)※受講の決定については、通知いたします。

対象

- 未就業または再就業一年未満の看護職員
- 診療所等に勤務している看護職員

- 仕事のブランクがある方
- スキルアップしたい方
- 復職したいけど不安な方

大歓迎です！



1日目
3月18日(月)

10:00 ▶ 12:00 13:00 ▶ 16:00

♣ 安全な看護技術 (採血・注射・輸液)



島根県ナースセンターへ
お電話ください！
0852-27-8510

2日目
3月19日(火)

10:00 ▶ 12:00 13:00 ▶ 16:00

♣ 看護場面における フィジカル アセスメント (基礎編) (呼吸ケアを中心に)

お仕事をさがしている看護職の方へ

島根県ナースセンターに
登録をお願いします。

無料職業紹介 e-ナースセンター
<http://www.nursu-center.net/>

ナースセンターは、
ワーク・ライフ・バランスの
実現をサポートします！

進学支援
研修支援

お仕事探し
仕事のお困り相談

仕事を探す
人材を探す
看護職を目指す
研修・イベント
ナースセンターは

申込先ならびに問合せ先

〒690-0049 松江市袖師町 7-11 公益社団法人島根県看護協会・ナースセンター TEL 0852-27-8510 FAX 0852-25-3157
E-mail shimane@nurse-center.net



登録された方には
ナースの“はたらく”が
なんでも分かる

「はたさぼ」
をさしあげます。



こんにちは。サウスクラウドアンサンブルです♪

雲南市立病院 小早川 裕子

病院職員の有志により2008年「音楽友の会」として発足し、2011年に「サウスクラウドアンサンブル」とグループ名を新たに、夏場は七夕コンサート、秋は病院祭、冬はクリスマスコンサートに向けて、今日も和気あいあいと楽しく活動しています。

グループは、弦楽器や管楽器での演奏を披露する楽器チームと、アカペラなどで歌を披露する歌チームから構成されています。歌チームは、外部からボイストレーナーの先生を招き、練習に励んでいます。メンバーは、医師・看護師・検査技師・薬剤師・事務・ケアワーカー・調理師といった様々な職種の方が携わっており、他職種の方と関われる貴重な場ともなっています。

コンサートを開く都度に、良いひとときを過ごせたと患者様から嬉しい言葉をいただいている。不安や苦痛を伴う入院生活の中で、少しでも安らげる場を提供できるよう、また職員同士の良き交流の場となるよう、今後も活動していきたいと思います。

INFORMATION

インフォメーション

平成25年度看護の日記念事業

日 時:平成25年5月11日(土)12時~
会 場:くにびきメッセ(松江市)

平成25年度日本看護協会通常総会

日 時:平成25年6月4日(火)~5日(水)
会 場:幕張メッセ 幕張イベントホール

平成25年度全国職能別交流集会

日 時:平成25年6月6日(木)9:30~16:00
会 場:幕張メッセ

平成25年度島根県看護協会通常総会

日 時:平成25年6月15日(土) 受付9:15~
会 場:くにびきメッセ(松江市)
特別講演:「看護の原点をみつめて」(仮)
講 師:石垣靖子氏(元東札幌病院副院長)

專門看護師・認定看護師活動交流会

日 時:平成25年3月3日(日)13:00~16:00
会 場:島根県看護研修センター

平成25年度会員の入会手続きはお済ですか。

ご入会をお待ちしています。

【入会手続き】

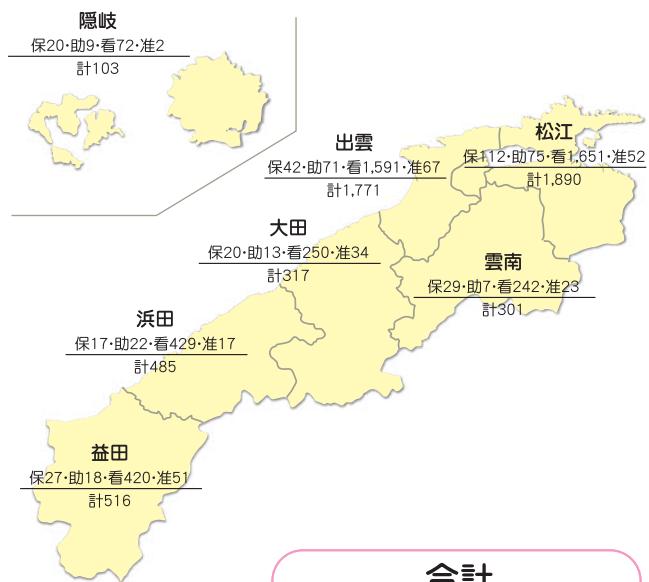
平成25年度会員継続申請書を所属を通してお届けしています。必ず25年度申請書をご利用ください。

【申請書】

印字内容に変更がある場合は必ず「変更あり」に○をつけ、該当箇所の下部に訂正内容を楷書でご記入ください。会員証が届くまでの間は会員証明になります。



支部別・職員別会員数(合計) (平成25年2月20日現在)



合計

保267·助215·看4,655·准246
計5,383

編後集記

2年前に集まった広報委員での最後の「あかね雲」出版となりました。手さぐり状態だった編集作業もすいぶん手順よく進めることができるようになりました。

2年間楽しく活動できました。みんなありがとう。今後も「あかね雲」を楽しみにしています。

